

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
カラスアゲハ	アゲハチョウ科	黒をベースとした 緑～青の輝き	x	x	○	全国

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
コクサギ、カラスザンショウほか						3		蛹 (さなぎ)			



生田緑地 4月下旬 ♂吸水

カラス以上に美しく、微妙な模様と配色のカラスアゲハは生田緑地まで足を伸ばせば見られるアゲハです。

オスは湿地で吸水していることが多い一方で、メスは吸水には殆ど訪れず花に飛来して吸蜜しますが一つの花には束の間しか留まりません。



東高根森林公園 4月下旬 ♂吸水

5月下旬に毎年、奥多摩の日原（鍾乳洞で有名）にカラスアゲハと、その美しさで人気のあるミヤマカラスアゲハを撮りに行きます。これらのアゲハチョウは「蝶道」という一定のコースを同じように飛ぶこと、また、吸水が時折、集団化することがあるなどの習性を知っているとこれらの蝶に会える機会が増えます。新緑の山々に取り囲まれた溪流沿いのすがすがしい空気の中で蝶たちと過ごす時間はまた格別です。



生田緑地 5月初旬 ♀ツツジで吸蜜
メスはおっぱら花を訪れ吸蜜するが、オスよりも羽の色彩は美しい



ミヤマカラスアゲハ 奥多摩日原 5月下旬 ♂吸水
蛹で越冬して羽化する春型は特に色彩が美しい